

機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

ジェイフィード栄養ボトル

再使用禁止

(セットなし)

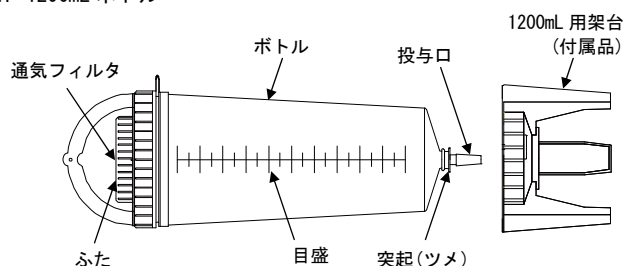
【禁忌・禁止】 再使用禁止

*【形状・構造及び原理等】

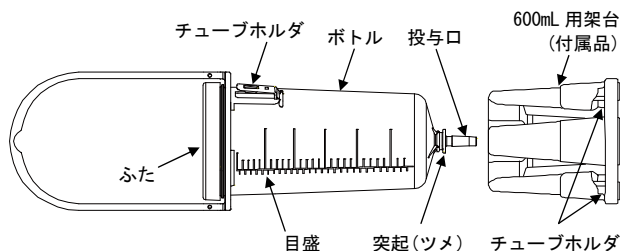
ボトル、ふた、架台からなる。600mL ボトル用架台は滅菌済み又は未滅菌で単品販売する場合がある。

〈構成〉

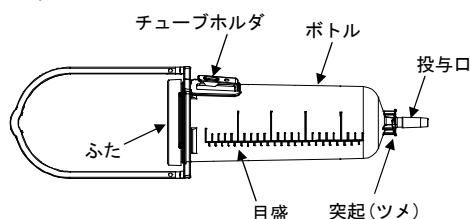
1. 1200mL ボトル



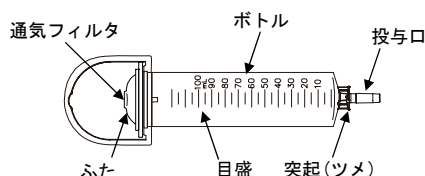
*2. 600mL ボトル



3. 200mL ボトル



*4. 100mL ボトル



〈原材料〉

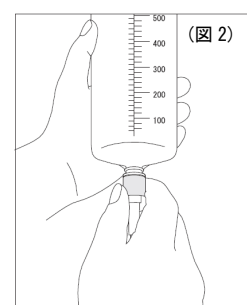
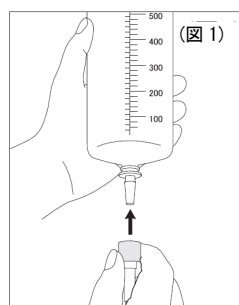
構成部品	原材料
ボトル	ポリプロピレン
ふた	ポリプロピレン
通気フィルタ	ポリテトラフルオロエチレン

【使用目的又は効果】

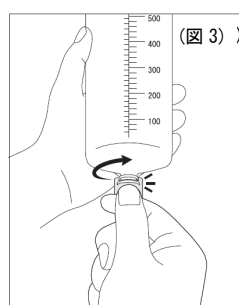
胃又は腸に挿入したカテーテルと連結して栄養剤、医薬品等を投与する器具。

*【使用方法等】

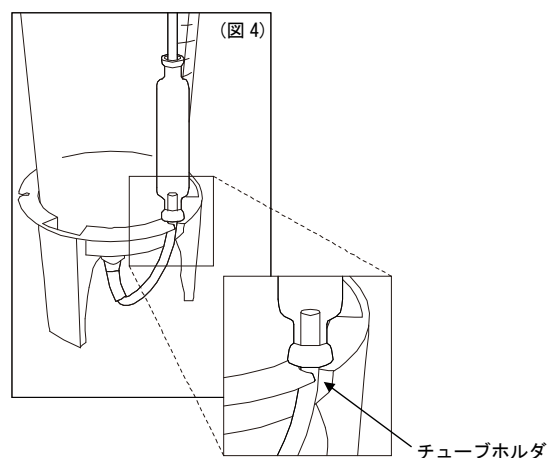
1. 包装から本品を取り出します。
2. 1200mL ボトルの場合、栄養投与セットと接続する前に、ボトルを 1200mL 用架台に固定します。
3. 本品に接続する専用コネクタ (Q ロック) のついた栄養投与セットのクランプを閉じます。
4. 本品を栄養投与セットに接続します。ボトルをしっかり持ち、専用コネクタ (Q ロック) をまっすぐ投与口へ挿入します (図 1)。専用コネクタ (Q ロック) は突きあたるまで押し込みます (図 2)。



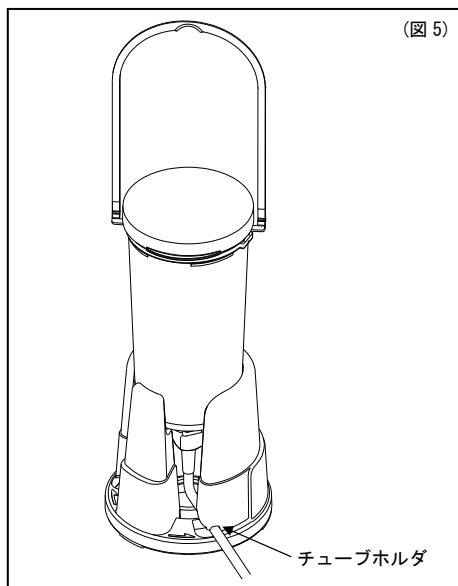
5. 次に押し込んだ状態で右に回転させ、ボトル先端の突起 (ツメ) と接続します。接続できた場合はカチッと感があります (図 3)。



6. 次の通り、ボトルを架台又はガートルスタンドにセットします。
(1) 1200mL ボトルの場合、栄養投与セットのチューブを 1200mL 用架台のチューブホルダに通し、固定します (図 4)。



- (2) 600mL ボトルで 600mL 用架台を使用する場合は、ボトルを架台に固定します。次に、栄養投与セットのチューブを架台のチューブホルダに通し、固定します (図 5)。



【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社ジェイ・エム・エス

電話番号：082-243-5806

(3) 600mL ボトルで 600mL 用架台を使用しない場合、200mL ボトル及び 100mL ボトルの場合、ボトルをガートルスタンドにつるします。

7. あらかじめ調製した栄養剤等を、汚染に注意しふたを開けて注入口からボトルに充填後、ふたをします。
8. 架台のチューブホルダに栄養投与セットのチューブを固定した場合、チューブをチューブホルダから取り外します。
9. 栄養投与セットの使用方法に従って使用します。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

- *1. 栄養投与セットを接続する場合は、ロック部分が本品の投与口の突起(ツメ)に確実に接続(ロック)されていることを確認すること。また、ロック部分を過度に回転させないこと。[接続が不十分な場合、外れ、液漏れが生じるおそれがある。][過度に回転させるとロック部分や突起(ツメ)が破損する場合があります。]
- 2. 投与口のテーパ部に栄養剤等が可能な限り付着しないように注意すること。[接続部に緩みが生じるおそれがある。]

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 固形物が残る栄養剤等を注入しないこと。また、ボトルの中で溶解、調製する場合は十分に栄養剤等が溶解していることを確認すること。[投与口が詰まる。必要な投与ができない。]
2. 粘度が高い又は不溶解物がある成分栄養剤の投与では、詰まりによる流量の変化のおそれがあるので、流量の管理には十分注意すること。
3. 100mL ボトル及び 1200mL ボトルについては、界面活性剤が含まれた栄養剤等を使用するとふた部分の通気フィルタが親水化され、通気不良が発生するおそれがあるので注意すること。
4. ボトルの目盛は、目安として使用すること。
5. 本品に栄養剤等を充填した状態で長時間の保管及び投与の中断はしないこと。
6. ボトルを落下させたり、衝撃を加えたりしないこと。[破損及び液漏れが生じるおそれがある。]

〈不具合・有害事象〉

その他の不具合

漏れ、外れ、緩み、詰まり、破損

【保管方法及び有効期間等】

〈有効期間〉

3 年 [自己認証(当社データ)による]

包装の使用期限欄を参照すること。